



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-8729-5	版	5.00
発行日	2023/11/28	前発行日	2023/11/28

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] ヘッドライトクリアコーティング剤 39173、3M[™] ヘッドライト用レストアキット(クリアコーティング剤) 39193JP

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	コンシューマービジネスグループ
電話番号	042-779-2173

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚感作性： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

警告

シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H401 水生生物に毒性
H412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

一般：

P102 子供の手の届かないところに置くこと。
P101 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルをもっていくこと。

安全対策

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレアの吸入を避けること。
P280E 保護手袋を着用すること。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	50 - 80
アジピン酸，2-2-ジメチル-1,3-プロパンジオール，エチレンジアミン，1,6-ヘキサジオール，ジメチロールプロピオン酸とジシクロヘキシルメタン-4,4'-ジイソシアネートの共重合体とトリエチルアミンとの化合物	347175-78-4	5 - 15
アクリレートコポリマー	営業秘密	1 - 5
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	1 - 5
ポリメチルメタクリレート	9011-14-7	1 - 5

安息香酸ベンジル	120-51-4	1.2
紫外線安定剤 A	104810-47-1	< 1
紫外線安定剤 B	104810-48-2	< 1
紫外線安定剤 C	41556-26-7	< 1
紫外線安定剤 D	82919-37-7	< 0.3

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素

二酸化炭素

窒素酸化物

条件

燃焼中

燃焼中

燃焼中

消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、

顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。指定された個人保護具を使用する。

保管

特別な貯蔵条件はない。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	AIHA	TWA:140 mg/m ³ (25 ppm)	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値
 ppm: 百万分率
 mg/m³: ミリグラム/立方メートル
 CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	繊維に含浸させた液体
色	乳白色。
臭い	穏やかな匂い。
臭いの閾値	データはない。
pH	8.5 - 9.5
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	引火点>93℃
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。

燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1 - 1.1 kg/l
比重	1.03 [参照基準:水=1]
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	<=25 mPa-s
揮発性有機化合物	<=48 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]
揮発性有機化合物	<=0.2 重量% [試験方法: カリフォルニア大気資源委員会第二章に基づいて算出]
揮発分	70 - 80 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	<=181 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値]

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

知見はない。

混触危険物質

未確定

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは

製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

生殖毒性

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	皮膚	ウサギ	LD50 9,143 mg/kg
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 5,400 mg/kg
ポリメチルメタクリレート	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ポリメチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
安息香酸ベンジル	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
安息香酸ベンジル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
紫外線安定剤 C	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
紫外線安定剤 C	経口摂取	ラット	LD50 3,125 mg/kg
紫外線安定剤 A	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
紫外線安定剤 A	吸入-粉塵/ミスト (4)	ラット	LC50 > 5.8 mg/l

	時間)		
紫外線安定剤 A	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
紫外線安定剤 B	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
紫外線安定剤 B	吸入—粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.8 mg/l
紫外線安定剤 B	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
紫外線安定剤 D	皮膚	専門家 による 判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
紫外線安定剤 D	経口摂取	ラット	LD50 3,125 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	ウサギ	刺激性なし
ポリメチルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
安息香酸ベンジル	ウサギ	わずかな刺激
紫外線安定剤 C	ウサギ	わずかな刺激
紫外線安定剤 A	ウサギ	刺激性なし
紫外線安定剤 B	ウサギ	刺激性なし
紫外線安定剤 D	ウサギ	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	ウサギ	中程度の刺激
ポリメチルメタクリレート	ウサギ	軽度の刺激
安息香酸ベンジル	ウサギ	刺激性なし
紫外線安定剤 C	ウサギ	軽度の刺激
紫外線安定剤 A	ウサギ	刺激性なし
紫外線安定剤 B	ウサギ	刺激性なし
紫外線安定剤 D	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	ヒト	区分に該当しない。
安息香酸ベンジル	ヒト及び 動物	区分に該当しない。
紫外線安定剤 C	モルモット	感作性あり
紫外線安定剤 A	モルモット	感作性あり
紫外線安定剤 B	モルモット	感作性あり
紫外線安定剤 D	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	In vitro	変異原性なし
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	In vivo	変異原性なし
安息香酸ベンジル	In vitro	変異原性なし
紫外線安定剤 C	In vivo	変異原性なし
紫外線安定剤 C	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
紫外線安定剤 A	In vitro	変異原性なし
紫外線安定剤 A	In vivo	変異原性なし
紫外線安定剤 B	In vitro	変異原性なし
紫外線安定剤 B	In vivo	変異原性なし
紫外線安定剤 D	In vivo	変異原性なし
紫外線安定剤 D	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	皮膚	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,500 mg/kg/日	器官発生期
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 5,500 mg/kg/日	器官発生期
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.6 mg/l	器官発生期
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,200 mg/kg/日	2世代
安息香酸ベンジル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 194 mg/kg/日	妊娠期間中
紫外線安定剤 C	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/日	29日
紫外線安定剤 C	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 209 mg/kg/日	授乳期早期交配
紫外線安定剤 C	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 804 mg/kg/日	授乳期早期交配
紫外線安定剤 A	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配
紫外線安定剤 A	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	115日
紫外線安定剤 A	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2 mg/kg/日	授乳期早期交配
紫外線安定剤 B	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	授乳期早期交配
紫外線安定剤 B	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	115日
紫外線安定剤 B	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2 mg/kg/日	授乳期早期交配
紫外線安定剤 D	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/日	29日
紫外線安定剤 D	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 209 mg/kg/日	授乳期早期交配
紫外線安定剤 D	経口摂取	雌性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 804 mg/kg/日	授乳期早期

				mg/kg/日	交配
--	--	--	--	---------	----

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 1,000 mg/kg/day	12 週
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ブタ	NOAEL 167 mg/kg/day	90 日
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	マウス	NOAEL 2,700 mg/kg/day	90 日
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	90 日
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	経口摂取	心臓 造血器系 神経系	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 8,100 mg/kg/day	90 日
安息香酸ベンジル	皮膚	皮膚 内分泌系 神経系 心臓 造血器系 肝臓 免疫システム 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,250 mg/kg/day	4 週
紫外線安定剤 C	経口摂取	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
紫外線安定剤 C	経口摂取	消化管 肝臓 免疫システム 心臓 内分泌系 造血器系 神経系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/day	29 日
紫外線安定剤 A	経口摂取	肝臓 内分泌系 造血器系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 50 mg/kg/day	90 日
紫外線安定剤 B	経口摂取	肝臓 内分泌系 造血器系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 50 mg/kg/day	90 日
紫外線安定剤 D	経口摂取	眼	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
紫外線安定剤 D	経口摂取	消化管 肝臓 免疫システム 心臓 内分泌系 造血器系 神経系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,493 mg/kg/day	29 日

誤えん有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡く

ださい。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
アジピン酸, 2-2-ジメチル-1,3-プロパンジオール, エチレンジアミン, 1,6-ヘキサジオール, ジメチロールプロピオン酸とジシクロヘキシルメタン-4,4'-ジイソシアネートの共重合体とトリエチルアミンとの化合物	347175-78-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	緑藻類	推定値	96 時間	EC50	>100 mg/l
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	バクテリア	実験	16 時間	EC10	4,000 mg/l
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	チャンネルキヤットフィッシュ	実験	96 時間	LC50	6,010 mg/l

ル						
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,982 mg/l
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	緑藻類	推定値	96 時間	NOEC	100 mg/l
ポリメチルメタクリレート	9011-14-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
紫外線安定剤 A	104810-47-1	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
紫外線安定剤 A	104810-47-1	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2.8 mg/l
紫外線安定剤 A	104810-47-1	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	4 mg/l
紫外線安定剤 A	104810-47-1	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
紫外線安定剤 A	104810-47-1	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	10 mg/l
紫外線安定剤 A	104810-47-1	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.78 mg/l
紫外線安定剤 B	104810-48-2	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>100 mg/l
紫外線安定剤 B	104810-48-2	ニジマス	推定値	96 時間	LC50	2.8 mg/l
紫外線安定剤 B	104810-48-2	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	4 mg/l
紫外線安定剤 B	104810-48-2	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
紫外線安定剤 B	104810-48-2	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	10 mg/l
紫外線安定剤 B	104810-48-2	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.78 mg/l
紫外線安定剤 C	41556-26-7	緑藻類	実験	72 時間	EC50	1.68 mg/l
紫外線安定剤 C	41556-26-7	ミジンコ	実験	24 時間	EC50	20 mg/l
紫外線安定剤 C	41556-26-7	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	0.9 mg/l
紫外線安定剤 C	41556-26-7	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.34 mg/l
紫外線安定剤 C	41556-26-7	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	1 mg/l

紫外線安定剤 D	82919-37-7	液状化	推定値	3 時間	EC50	>100 mg/l
紫外線安定剤 D	82919-37-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	1.68 mg/l
紫外線安定剤 D	82919-37-7	ミジンコ	推定値	24 時間	EC50	20 mg/l
紫外線安定剤 D	82919-37-7	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	0.9 mg/l
紫外線安定剤 D	82919-37-7	緑藻類	推定値	72 時間	EC10	0.34 mg/l
紫外線安定剤 D	82919-37-7	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	1 mg/l
安息香酸ベンジル	120-51-4	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.475 mg/l
安息香酸ベンジル	120-51-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.09 mg/l
安息香酸ベンジル	120-51-4	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	2.32 mg/l
安息香酸ベンジル	120-51-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.247 mg/l
安息香酸ベンジル	120-51-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.258 mg/l
安息香酸ベンジル	120-51-4	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	NOEC	0.023 mg/l
安息香酸ベンジル	120-51-4	液状化	実験	3 時間	EC50	>10,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アジピン酸, 2-2-ジメチル-1,3-プロパンジオール, エチレンジアミン, 1,6-ヘキサジオール, ジメチロールプロピオン酸とジシクロヘキシルメタン-4,4'-ジイソシアネートの共重合体とトリエチルアミンとの化合物	347175-78-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジエチレング	111-90-0	実験 生分解	16 日	二酸化炭素の	100 CO2発生	OECD 301B - 修正シ

リコールモノエチルエーテル		性		発生	量/理論CO2発生量%	ユツルム試験又は二酸化炭素
ポリメチルメタクリレート	9011-14-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
紫外線安定剤 A	104810-47-1	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	24 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
紫外線安定剤 B	104810-48-2	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	24 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
紫外線安定剤 C	41556-26-7	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	38 DOC除去%	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング試験
紫外線安定剤 D	82919-37-7	推定値 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	38 DOC除去%	OECD 301E - 修正 OECDスクリーニング試験
安息香酸ベンジル	120-51-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	94 %BOD/ThOD	EU Method C. 4-D Manometric Respirometry Test

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
アジピン酸, 2-2-ジメチル-1,3-プロパンジオール, エチレンジアミン, 1,6-ヘキサジオール, ジメチロールプロピオン酸とジシクロヘキシルメタン-4,4'-ジイソシアネートの共重合物とトリエチルアミンとの化合物	347175-78-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	111-90-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	-0.54	
ポリメチルメタクリレート	9011-14-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足してい	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		る。				
紫外線安定剤 A	104810-47-1	推定値 BCF - 魚	21 日	生物濃縮係数	34	OECD305-生体濃縮度試験
紫外線安定剤 B	104810-48-2	推定値 BCF - 魚	21 日	生物濃縮係数	34	OECD305-生体濃縮度試験
紫外線安定剤 C	41556-26-7	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<31.4	
紫外線安定剤 C	41556-26-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.37	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
紫外線安定剤 D	82919-37-7	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.77	
安息香酸ベンジル	120-51-4	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	25	Catalogic [™]
安息香酸ベンジル	120-51-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.97	

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質 (安衛則第594条の2第1項)；本SDSのGHS分類により適用

消防法：指定可燃物 (可燃性液体類)

化管法：第1種指定化学物質

主な法規制物質

化管法

成分	政令名称	管理番号	区分
安息香酸ベンジル	安息香酸ベンジル	583	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

- セクション 8 : OEL登録機関の説明 情報修正.
- セクション 3 : 成分表 情報修正.
- セクション 1 : 製品名 情報修正.
- セクション 1 5 : 化管法の表 情報修正.
- セクション 1 5 : 適用法規のステートメント 情報修正.
- セクション 1 2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1 1 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。